

がん教育実施報告書

学校名	郡山市立安積第二小学校	
実施対象者 (学年・保護者など)	5年生(54名)	
教育課程の位置づけ	学級活動	
実施日時	令和5年1月25日(水) 11:15~12:00	
打合せについて	【1回目】方法:Fax,メール 内容:実施計画の確認、内容調整	
	【2回目】方法:メール 内容:事前アンケート結果送付	
外部講師 職・氏名	医師 齊藤 道也 様(みちや内科胃腸科医院) ※アンケート調査実施:看護師 西郡 里美 様(福島労災病院)	
実施内容	<p>【めあて】</p> <p>(1) がんについての正しい知識(予防できること、早期発見によって治癒する可能性が高いこと)を理解する。</p> <p>(2) 健康と命の大切さについて考えることができる。</p> <p>【指導過程、授業の様子】</p>	
		<p>(1) 「がん」とはどのような病気か(原因、どこにできるか、治療など)</p> <p>(2) 「がん」の対策(生活習慣、特に喫煙とその影響を重点的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙、受動喫煙、イエローグリーン運動、電子たばこの理解、3つの対策(たばこ、子宮頸がんウイルス、検診) 他
	<p>(3) 健康と命の大切さについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんにかかった人との接し方、自分にとって大切な人へ、「がんにかからないためのメッセージ」を考え、伝えること ・薬物依存の入り口としてのたばこ 	

成 果 等

【児童の感想】

- お父さんに「たばこを吸わないで」と言いたい。がんを治せることがわかりよかった。(女子)
- 自分で生活習慣に気をつけたり、他の人のたばこのけむりを吸わないようにしたりするなどの努力が必要だなと思いました。(男子)
- お酒やたばこをやめる。それだけで救える命があることがわかりました。周りにそのことを呼びかけたり、検診をすすめたりしようと思いました。(男子)
- 2人に1人はかかり、3人に1人は死亡するということが少しぞうっとした。ぼくはストレス解消で将来たばこを吸ってしまいそうなので、これからはがんのおそろしさを知って吸わないようにしたい(男子)
- わたしは子宮けいがんワクチンの予定があるのでしっかり打っていきたいです。(女子)
- 長生きをしているおばあちゃんがいるので今日の学習のことを伝えたい。(女子)
- ぼくのしんせきで一人、がんで死んでしまって、ずっとなぜがんが発生してしまったのか2年間ぐらい考えていたが、今日のがんの学習でその原因がわかってよかった。(男子)

【外部講師を活用して】

- 子どもたちは、がんについての関心や知識、身近ながん経験者の有無など個人差が大きい。だから診断・治療とその後の患者の生活を支える医師の話聞いてがんについての理解を深めて欲しかった。患者と関わる医師の話は説得力があった。実施してよかった。
- とくにたばこの有害性では様々な視点から子どもたちに考えさせる内容で大変よかった。また、患者の家族など周りの人はどのように接することが患者の生きる力や勇気につながるのか、例をあげて考えさせたりしていただいた。医師の話聞き、身近な病気となっているがんについて、病気の理解にとどまらない「思いやりの心」や、「がん予防の視点から大切な人に伝えたいこと」を考える機会にできたと思う。
- 授業後の子どもたちの感想から、がんは怖い病気だがよりよい生活習慣や検診、予防接種の大切さを改めて認識することができたのではと思う。
- 移動の負担や自然災害の危険を考えると、近隣医師の講師依頼が望ましいと思うがなかなか難しい。いわき市から本校(郡山市)へおいでいただき大変ありがたかった。
- 県の事業を活用し、初めてがん教育を実施した。不安だった講師選定・依頼にあたって県教育庁指導主事にコーディネートしていただき、大変心強くありがたかった。